

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 5号 通算 2057回



例会日：水曜日
 第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)
 例会場：ルミール華月殿 和歌山市屋形町 2-10
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
 サイバーリンクス N-4ビル 2階
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
 E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp
 会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
 会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



紀美野町の花《さくら》

本日の例会
 8月7日(水)
 18:30～華月殿

ロータリング：君が代・われ等和歌山東南 ローター
 行事：外部卓話「よもやま話」
 渡辺 勲 元県会議員様

次回の例会
 8月21日(水)
 12:30～華月殿

行事：クラブフォーラム
 会員増強委員会

先週例会報告

ゲスト：本願寺鷲森別院 副輪番 森田順照様

会場監督 赤井 誠

会長挨拶

郷間 博敏 会長

本日は、本願寺鷲森別院森田副輪番様ようこそお越しくございました。本日の卓話、よろしくお願ひいたします。例会委員長の辻本委員長様にお考えいただき、先週は東照宮、今週は鷲森別院和歌山の歴史のあるお話をお聞き出来る事は大変うれしく思えます。

先日の日曜日お暑い中「紀ノ川河川敷の清掃」に13名のご出席有難うございました。収穫はテレビ2台とその他塵でした。



幹事報告

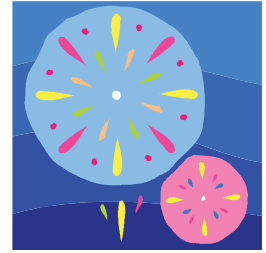
奥村 智子 幹事

- ・ 虎伏学園より「とらふす祭りの案内」が届いております。
 とらふす祭り：8月24日(土)17:00～20:00、虎伏学園(つつじが丘7丁目2-1)
- ・ 第12回ロータリー日韓親善会議のお知らせ
 10月19日(土)・20日(日)、グランドハイアットソウル(韓国)、申し込みは事務局まで。
- ・ ガバナー事務所より「奉仕活動の情報提供のお願い」が届いております。
 クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、各部門の奉仕活動等の写真説明、他コメントを提供、情報を地区のHPに掲載するそうです。 募集期間：2014年6月30日まで。
 掲載場所：2640地区HP「クラブ活動報告」ページ
- ・ 例年開催されているインターシティミーティングは2014年4月26日(土)にホスト 和歌山アゼリアRCで『IM第3組』の名称で実施される事になりました。



ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計 588,776	0	2,000	5,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数 48名 7/31	31名	67.39%
出席免除会員 3名 7/17	38名	84.44%



郷間君・森田副輪番様 本日の卓話 宜しくお願いいたします。
 奥村君・森田副輪番様 今日はどうも有難うございました。
 辻本君・森田副輪番 本日はよろしく。
 溝落君・寝坊をして、紀の川清掃 参加できませんでした。申し訳ありません。
 市川君・紀の川清掃 コロット忘れてました。ごめんなさい。
 鯨君・セイリング同好会 よろしくお願いい致します。
 山田君・一昨昨日の紀の川の清掃、暑い中ありがとうございました。
 2012-13 年度 皆出席会員表彰・溝落君。

《委員会報告》 親睦委員会 溝落和作委員長



先週もお知らせさせていただきましたが、親睦家族旅行(2泊3日)を10月18日(金)～10月20日(日)で行うことに決まりました。行き先については東北地方(青森周辺)です。詳しい内容については親睦委員会で決め、皆様にお知らせします。

本日、例会終了後 親睦委員会を開催いたします。親睦委員会の皆様、よろしくお願いいいたします。

「セイリング同好会へのお誘い」 セイリング同好会 幹事 鯨 拓也



我東南ロータリークラブでは、麻雀同好会、ハイキング同好会、ゴルフ同好会などの同好会を結成し、会員相互の交流の場として楽しんでおりますが、新たにセイリング同好会を結成し、会員の親睦とクラブの活性化を図るために活動したいと思っております。

和歌山下津港は、国際拠点港湾(旧特定重要港湾)に指定されており、江戸の昔より海運業も盛んで天然の良港として賑わってきました。然しながら近年は具体的に海に親しむという機会が減少し、ましてや船に乗るという機会は、釣り好きの太公望以外はほとんど皆無と言えるところです。その中、ヨット歴ウン十年のベテラン艇長である片畑会員のヨット(セイリングクルーザー)を旗艦艇とし、また、専門職であります太田会員には多大なご協力を受け賜り、同好会を発足し、オンシーズン(4月～11月)には帆を張りクルージング、簡易レース等、モーターボート、クルーザーでは釣り、月見、BBQ等の宴を楽しみたいと思っております。

特別の道具、服装は不要です。また未経験者もゼンゼン大丈夫ですので、ぜひご参加ください。

日程等の詳細は、後日書面にて配布いたします。



《ロータリーの守るべき道》

- ③ 例会場では他のクラブからのビジターやゲストの方々を親睦委員だけに任せず全員が温かく迎え、友愛に心がけましょう。



仏教には、私どもの浄土真宗や真言宗、浄土宗に日蓮宗など様々な宗派があり各派が説く教えには少しずつ違いもあります。しかしながら、仏教とは、全ての衆生が等しく悟りにいたる教えであります。言い換えれば、どの宗派にも共通している教えは、「成仏」つまり仏になるということです。誰が成るのかといえ、この私が仏になるこれが仏教の教えであり、お釈迦様が説かれた根本の部分でもあります。

大乘仏教では、仏になる前の菩薩様が仏になっていくには、52の段階があるといわれています。つまり、1段ずつ修行を重ねていき、52段目の仏の位をめざすのです。52段目を「妙覚(みょうがく)」といい仏さまの位を示します。その1つ手前の51段階を「等覚(とうがく)」といい、ほとんど仏様の悟りと等しい位をいいます。1段階から40段階までは、修行に失敗しますと後戻りする段階、言い換えれば修行のやり直しをさせられる段階といわれます。ところが、41段より上は、後戻りすることのない段階です。これを不退転といい、仏になることが約束された段階ということが言えます。

1段階から52段階まで、後戻りすることなく進んだ場合どの位の時間が必要かといえ、1兆×10の61乗年が必要であるといわれています。菩薩様とて大変な時間を必要とするわけであり、菩薩でもないこの私では到底仏になることなどできません。

また、私たちは「煩惱(ぼんのう)」という心を持っています。煩惱とは、私どもの身や心を煩わせ、悩ませる心の働きをいいます。特に最も深刻な煩惱として、三毒の煩惱があり、貪欲(どんよく)・瞋恚(しんに)・愚痴(ぐち)であります。貪欲とは、むさぼりの心、瞋恚は怒りの心、愚痴はねたむ心をいいます。

お釈迦様がそうであったように仏になるためにはこの煩惱を断ち切らねばなりません。しかし、いくら厳しい修行をしても煩惱を断ちきることもできないのが私の姿でもあります。

時間もない、煩惱を断ちきることもできないこの私がどうやって仏となることができましょう。

浄土真宗を開かれました親鸞聖人は、自らの著書の中で「不断煩惱得涅槃」とおっしゃっています。意識いたしますと「自ら煩惱を断ちきらずして涅槃(覚り)を得る」となります。親鸞聖人がご本尊とされた阿弥陀如来は、自らの力では仏になることができない私の姿を見られ、この私をいきなり51段階へ救い上げそこですぐさま煩惱を断じ尽くし52段階へ引き上げ覚りを得させよう(仏にする)とされるのです。しかも全ての命を平等に救いあげてくださるのです。阿弥陀様の働きによってこの私が間違いなく仏になることができます。

普段、私達にはそれぞれ生き甲斐というものを持って生きています。それは、仕事であったり家族であったり趣味であったりします。でも考えてみますとどれも一瞬にして消えてしまうものばかりです。遙か遠い昔からこの私のために説かれた仏さまのみ教え。時代の考え方にも流されることなく、どんな教えにも交わることのない永遠の真実の教え。仏様の教えに一度耳を傾けていただき、仏様のみ教えを人生の生き甲斐にさせていただければと思います。

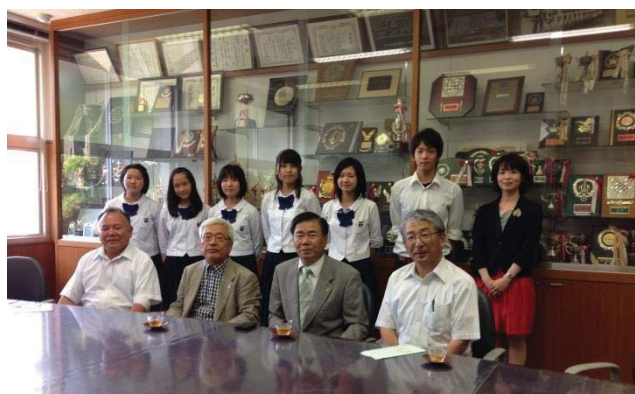
「紀の川一斉清掃」

7月28日(水) 8:00～10:00
紀の川大橋～紀の川第五緑地～北島橋
周辺及びその対岸

参加者 (13名)

奥村・神谷・楠見・郷間・坂口・
土屋・津川・寺下・西口・山本(唯)
山田・吉田・和田会員

暑い中、ご参加頂きました皆様
大変おつかれさまでした。



東南育英会奨学金受渡し(7月～9月分)

7月17日(水) 15:00～
向陽高校で1年生(2名)、2年生(2名)、
3年生(2名)計6名に奨学金を渡しました。

参加者：郷間会長・吉田直前会長・鯨前幹事
寺下東南育英会委員長

2012-13 年度 3RC(和歌山東南・和歌山
西・和歌山中 RC)合同社会奉仕事業・
《 防災作文コンクール表彰式 》
3月9日(土) 華月殿

8月号 ロータリーの友
ROTARY AT WORK P18に
掲載されました。



防災作文コンクール

〈和歌山東南・和歌山西・和歌山中
RC〉

津波、土砂崩れ、地震による建物倒壊など、今後和歌山で起こり得る災害を地域の子どもたちに具体的に認識してもらい、その上でどのような避難をするか、身を守る方法をどう考えていくのかを再認識してもらおうと、和歌山市内の小学4～6年生を対象に「防災作文コンクール」を実施。最優秀作品を表彰した。

(3月9日) 第2640地区 和歌山県)

